



今年の3月11日に東北地方を襲った東日本大震災は未曾有の被害をもたらし、多数の犠牲者を生みだしました。徳島大学病院では少しでも被災地の皆様のお役に立てばとの願いをこめて徳島県と連携し医療支援隊の派遣を続けています。日本全体が立ち直るにはまだまだ時間がかかりそうですが、このような状況の中で研修医の皆様は医師としての第一歩を踏み出されたわけです。将来どのような医師をめざすかということに常に自分の中で問いつつ、まずは幅広くプライマリーケアを身につけることが肝要かと思えます。徳島大学病院では関連病院をまたぐフレキシブルな臨床研修プログラムを用意しています。若い時には一つの病院に定着せず、できるだけ多くの病院での研鑽を積まれることをお勧めします。次世代の日本の医療を担う若者がこの中から育つことを期待しています。



病院長 安井 夏生

平成23年度プログラムの研修が始まりました。



▲徳島県新人研修医の集い: 飯泉徳島県知事、川島徳島県医師会会長を囲んで

平成23年4月1日より、新しく23年度プログラムの研修医を迎えました。今年度のプログラムも、各研修医それぞれの希望進路に合わせた研修内容となっているため、誰一人として同じプログラムはありません。昨年度から協力病院も増設しているため、2年間の研修期間中に高松や高知、松山だけではなく、北海道や東京などで研修してくる研修医もいます。

今年度の徳島大学病院のプログラムには、1年次27名、2年次32名の合計59名の研修医が在籍しています。昨年度より若干人数は減ったものの、今年もにぎやかな卒後臨床研修センターで

研修医室では、研修医同士の結束が日増しに高まっている様子が感じられ、2年次の研修医が1年次研修医を指導したり、相談にのっている様子も見られます。

昨年度に引き続いて、研修医向けのオリエンテーションを行いました。各部署からの講義に加えて、採血・点滴実習など研修にすぐに役立つトレーニングも実施しました。新人看護師との「コミュニケーション研修」で交流を深め、病棟での研修もさらに円滑に行われるようになると期待しています。

オリエンテーション期間中に「徳島大学病院



▲研修医と新人看護師のコミュニケーション研修



▲オリエンテーション: 心肺蘇生実習

新人歓迎会」を徳島大学病院西病棟11Fのレストラン「ウェルカ」で開催し、副院長をはじめ、各診療科指導医にも御参加いただきました。

また、4月23日には徳島県医師会館で行われた徳島県医師会主催の「新人研修医の集い」に参加し、県内の他の病院で研修を開始した研修医との交流を深め、懇親会では飯泉徳島県知事からも激励のお言葉をいただきました。

皆さんに暖かく迎えられた研修医たちが、これから一社会人として立派に成長していきたくてを期待します。今後も引き続き研修医の育成にご協力をよろしくお願い致します。

【卒後臨床研修センター】センター教員を増員して、新体制になりました。



後列:左から 渡部真也センター教員、宮谷知彦センター教員
前列:左から 上田由佳センター教員、佐田政隆センター長、西京子副センター長

徳島大学病院卒後臨床研修センターは平成23年度よりセンター教員を増員し新体制になりました。佐田政隆センター長を筆頭に、専任スタッフには西京子副センター長(講師)、宮谷知彦助教に加え、上田由佳助教、渡部真也助教が加わりました。さらにセンターの運営委員として、研修科関連の教員、安全管理対策室、看護部、薬剤部、診療支援部、病院情報センターなどが参加しています。各診療科には卒後研修主任が1名ずつ配置され、センターと診療科間の連絡をこまめに取り、研修がスムーズに行えるようになっています。専任スタッフの数も3名から4名に増え、今まで以上にきめ細やかな対応が可能になるようスタッフ一同努力していきます。研修医が充実した研修を積めるように、研修環境や研修プログラムの改善とともに研修医1人、1人に合わせた研修指導を行っていきたくと思います。今後とも徳島大学病院の卒後臨床研修にご協力ご支援をよろしくお願い致します。

平成24年度 徳島大学病院 卒後臨床研修プログラム

徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページ <http://www.tokudai-sotsugo.jp>

平成24年度の卒後臨床研修プログラム内容が決まりました。卒後臨床研修制度の改編に伴い、今年度と同様に各研修医の自由度を増やしたものになっています。内科6か月、救急3か月、地域医療1か月が必修科目、選択必修(外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科)の5科の中から2科を選択)が2か月、残りの期間は、将来の進路に合わせて各研修医が希望診療科を選択科として研修できるプログラムです。パターン1から4までの4つのプログラムがあり、徳島大学病院での研修期間は8か月以上必要です。協力病院については、ホームページを参照ください。

2012年 [平成24年]				2013年 [平成25年]				2014年 [平成26年]															
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内科				救急				選択必修	選択必修	地域	選択												
6ヵ月				3ヵ月				2ヵ月	1ヵ月	1ヵ月	11ヵ月												

(※)到達目標の達成に必要な研修科を選択

パターン1 3病院連携プログラム

徳島大学病院(徳大)、徳島県立中央病院(県中)、徳島市民病院(市民)とのコラボレーションが可能な人気のプログラムです。必修科、選択必修、選択科のうち何科の研修をどの病院で、どの期間に行うかを研修医が自由に決めることができます。

マッチングスケジュール (2011年)			
6月23日(木)	マッチング参加登録開始	8月31日(水)	第二回選考試験(面接)
8月2日(火)	第一回応募締切	9月1日(木)	第三回応募締切
8月11日(木)	マッチング参加登録締切	9月11日(日)	第三回選考試験(面接)
8月12日(金)	第一回選考試験(面接)		
8月22日(月)	第二回応募締切		

パターン2 Bon Voyageプログラム

選択科の研修期間が増えたことによって、専門医研修へとつなげる有意義な研修が可能です。新たに全国規模で研修協力病院も増え、選択肢がひろがりました。

パターン3 産婦人科研修プログラム

将来、産婦人科医を目指す研修医を対象とした、産婦人科医療の基本的事項を研修できるプログラムです。

パターン4 小児科研修プログラム

将来、小児科医を目指す研修医を対象に高度先進医療から一般小児科、小児救急、新生児医療など幅広い小児医療について専門的なレベルの研修が行えるプログラムです。



全国に広がる研修協力病院

徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会スケジュール

- 5月1日(日) 中国四国地区医師臨床研修病院合同説明会(岡山コンベンションホール)
- 6月4日(土) 平成24年度 徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会(徳島大学病院第2臨床講堂、リハビリテーションセンター)
- 7月3日(日) レジナビフェアin大阪(インテックス大阪)
- 7月17日(日) レジナビフェアin東京(東京ビッグサイト)

研修医紹介

質問事項
①氏名 ②コメント

1

1年目研修医

毛山 剛



微力ながら卒後臨床研修センター、徳島大学病院を盛り上げていくために一生懸命がんばります!!

藤村 仁美



知識・技術・思いやりの心を持ち合わせた医師になるべく、日々精進いたします。どうぞよろしくお願い致します。

松本 友里



たくさんの方との関わりを大切に、思いやりの心を持って、日々努力していきたいと思っております。

森住 俊



日々努力し、患者さんに信頼される医師になれるよう頑張っています。よろしくお祈り致します。

江藤 祥平



明るく元気、素直で謙虚に、研修医という立場に甘えることなくやって行きたいと思っております。

大黒 由加里



教えて頂く事ばかりの日々で恐縮ですが、毎日楽しいです。たくさん勉強させて頂いてありがとうございます。

白河 綾



至らない点が多いとは思いますが、日々成長できるように努力したいと思います。

田岡 志保



知識や技術はありませんが、誠実さと笑顔を大切に、研修に励みたいと思います。ご指導よろしくお願いします。

高木 恵理



実家まで新幹線で6時間。遠い土地ですが大学でのご縁を大切に過ごしたいです。

高橋 直希



未熟な点が多いとは思いますが、日々努力し、一歩ずつ前進していきたいと思っております。

田根 なつ紀



まだまだ慣れないこともありますが、皆さんから多くを学んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

玉置 惣一朗



先生方、スタッフの方々から多くのことを吸収し、少しでも皆さまに信頼される医師になりたいと思っております。

長坂 信司



形成外科志望ですが、まわる科全てで、色々なことを吸収していきたいと思っております。全力でがんばります。

高橋 真美子



1日1日を大切に充実した生活を送っていきたく思っています。ご指導よろしくお願いします。

藤岡 啓介



一日一日を大事にして少しずつでも着実にstep upできるように日々努力していきたいと思っております。

矢野 祖



今できる事を確実にこなす。できない事を一つずつ減らす努力をする。今日一日を精一杯生きる。楽しむ!! よろしくお祈り致します!

立花 綾香



まだまだ未熟で分からないことだらけですが、人に信頼される医師になれるよう一日一日を大切に過ごしていきたいと思っております。至らないところもありますが、よろしくお願い致します。

宇高 憲吾



1年目で学んだ事、学べなかった事を見直し、医師として新たに成長したいと思っております。

大嶋 功



初心を忘れずに日々精進していきたいと思っております。

新居 沙央里



毎日とても充実した研修生活を送ることができ、日々感謝の気持ちで一杯です。あと一年精一杯頑張ります。

2

2年目研修医

緋田 哲也



2年目になりましたが、積極的に取り組んでいきたいと思っております。

宇高 良



まだまだ未熟ですが一日一日着実に力をつける事が出来ています。研修も2年目になりました。昨年より実りある研修をしたいです。

岡崎 潤



この4月より研修も2年目となりました。1年目で学んだことをもとにステップアップしていきたいです。

岡田 泰行



4月より大学病院で研修させていただいております。患者さんの気持ちを考えた診療をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

尾崎 啓介



早いもので、研修も1年が過ぎました。まだまだ未熟ですが、ご指導の程よろしくお願いします。

高岡 慶史



4ヶ月ぶりに大学病院に戻ってきました。消化器内科で1年間研修をがんばります。

阪梨 友



知識と技術を身につけ患者さんに信頼していただける医師になれるよう努力していく所存です。

田中 宏典



初心を忘れず、日々の診療を精一杯頑張りたいと思っております。よろしくお願い致します。

萩野 寛隆



久しぶりに徳大へ帰ってきました。離れていた間に学んだことを生かして2年目の研修を頑張ろうと思っております。

原 知也



『夢+努力=現実』(夢の方程式)

中澤 浩志



一期一会を大切にします。

富士田 祥子



早いもので2年目に突入しました。いつまでも初心を忘れず成長できたらと思います。



▲2年目研修医企画による新人研修医歓迎会



▲東日本大震災被災地支援に2年目研修医緋田先生が参加

先輩からのメッセージ

初期研修を終えて

徳島大学病院 精神科神経科 福間亮介
(H21-H22年徳島大学病院卒後臨床研修プログラムで研修)

みなさん、こんにちは。福間です。2年間の初期研修を終え、精神科医としてここ徳島大学でお世話になっています。

今思えば長いようで短かった2年間でした。僕のプログラムは、1年目に愛媛県立中央病院、2年目に徳島大学病院というものでした。1年目は症例数が多い病院をと思い、このプログラムを選択しました。初めての土地、初めての一人暮らし、そして初めての仕事ということで、期待よりも不安の方が大きかったです。実際、仕事を始めてみると、わからないことだらけで、自己嫌悪に陥ることも多々ありました。しかし、同期の仲間や、先輩方が温かく見守ってくれたおかげで、なんとか1年を乗り切ることができました。2年目になってからは、選択期間をすべて精神科にしました。予想以上に内科的な関わりが多く、1年目に苦勞した甲斐があったのではないかと思います。

今は当直も始まり、なかなか忙しい生活をしています。責任もさらに増し、まだまだ勉強不足だと痛感することも多いですが、研修で得た知識、技術を生かして、日々成長していきたいと思っております。みなさんも、後悔のないような研修生活をエンジョイしてください。応援しています。



▲医局にて昼食中。大森教授、沼田先生と。(執筆者が一番手前)

編集後記

3月11日に起きた東日本大震災という未曾有の大災害は、日本ばかりでなく世界中の人々に大きな衝撃と深い悲しみをもたらしました。そんな中、徳島大学病院でも新しい研修医を迎え、新年度の研修がスタートしました。もう2度とこのような事は起こって欲しくはないけれど、いつか日本が、世界が窮地に立たされた時にはそれに立ち向かう「思い」と「力」を身につけておいて欲しい、そんなことを研修医達には期待して止みません。卒後臨床研修に関すること、このニュースレターに関する事等、何かありましたらご連絡ください。(W)

■ ニュースレターに関するご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@jim.tokushima-u.ac.jp

徳島大学病院
Tokushima University Hospital

徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359または9976 Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@jim.tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp